

1. 基本事項

Table with 4 columns: 事務事業名, 基本目標, 政策名, 事業区分, etc. containing project details like '水道施設建設改良事業' and '水道法、地方公営企業法'.

2. 事務事業の概要

Table with 2 columns: 目的 (Objective) and 事業内容 (Project Content). Objective: '老朽化した水道施設を計画的に更新し、安心安全な水道を安定供給する。'

3. 実施状況

Table showing implementation status with columns for '指標名称' (Indicator Name) and '年度' (Year). Includes a sub-table for '給水人口と普及率' (Water supply population and penetration rate) from H21 to H29.

4. 投入資源

Table showing input resources with columns for '年度' (Year) and '事業費' (Project Cost). Includes sub-tables for '事業費の算出根拠(H28)' and '事業費増減の理由'.

(PLAN) 計画

(DO) 実行

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	計画的な建設改良工事を実施することにより、災害発生時における危険性を軽減することのみならず、施設全体を更新することにより、より一層の資産価値の確保が可能となった。 安心安全な水道水を安定供給できた。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	
有効性	③成果の向上余地がない か	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	計画的な事業実施により、老朽化した施設の改善をおこなう必要性がある。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある	より良い成果を達成できるよう、実施の際は十分に精査をしている。
	⑤人員や実施形態は適正か	<input type="radio"/> 改善の余地がない <input checked="" type="radio"/> 改善の余地がある	事業推進のためには、より一層の実施形態強化が望まれる。
	⑥他自治体と連携できるか	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	市が公営企業として運営している水道事業である。
	⑦官民協働できるか	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	水道需要者(お客様)としての官民協働を進めていきたい。
	⑧地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	安全な水道水を常に安定供給することにより、住みやすい生活環境基盤が整備される。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
給水人口の減少や節水志向の高まりから料金収入が減少し、経営が厳しい中、老朽化した水道施設を順次更新する必要があり、同時に耐震化等も急務になってきている。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

中長期的に事業環境を予測した上で、その計画に基づき取り組んでいる。

(ACTION) 改善

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
水道施設建設改良事業は概ね計画とおり実施できているが、重要施設の更新や耐震化等で計画の見直しも必要である。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)			
所属長評価	浄水場内の主要施策の耐震化及び更新は、ほぼ計画どおり完了となる見直しとなった。しかし、管路の耐震化(更新)は進んでいない状況である。計画の見直し等をはかり、重要度、優先度を考慮し、事業の推進を図らなければならない。	所属長評価	H28年度については、概ね計画どおりに実施されたが、今後は財源の確保が難しくなる事も考えられるので、計画の見直しを行いながら、着実に事業を実施していくことが益々重要となってくる。		
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止		

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	水道事業計画策定・進行管理事務			事務事業コード	424-103-56
総合計画	基本目標	4	社会生活基盤が整い、安全で快適なまち	担当課	上下水道課
	政策名	2	安全安心で住みやすい生活環境基盤を整備する	担当者	杉澤直彦
	施策名	4	安全な水道水の安定供給	内線	353
事業区分	<input type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input checked="" type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input type="radio"/> 評価事業 <input checked="" type="radio"/> 説明事業
法令根拠	水道法、地方公営企業法				
条例・要綱等	新庄市水道事業の設置等に関する条例				
予算・事務事業名	企業会計	1款1項4目	業務及び総係費	予算コード	
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 昭和 42 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	水道事業計画に基づき健全経営、適正な維持管理、必要な施設整備を実施し、安心で安全な水道水を安定的に使用者へ供給する。	事業内容	中長期的な事業計画や経営計画を策定する。それに基づき予算を編成し適正に執行する。決算の数値を基に経営分析を行い進行管理をする。		
対象	水道使用者。				
目指す状態	安定した財政基盤を確立し、健全で効率的・継続的な水道経営を実施する。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	説明(算式等)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込
				実績	34,809	34,418	34,170			
	給水人口(人)	まちづくり総合計画(人口フレーム)	達成率							
活動指標	指標名称	説明(算式等)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画
	計画策定・進行管理回数(回)		実績	4	4	4				4
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%				
成果指標	指標名称	説明(算式等)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標
	経常収支比率(%)		実績	103	101	100				110
			達成率	93.6%	91.8%	90.9%				
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明) 平成23年4月策定した「新庄市水道ビジョン 2011~2020」により、安全で安心な水道水の安定供給を図る。本ビジョンは、「水道事業の安定と持続により、安全で安心な水道水の安定供給と環境にやさしい水道を構築」するものであり、水道関係者による共通認識の形成と水道事業の経営基盤の強化を図るため、計画目標年度を平成32年度として策定した。 また、今年度は今後作成する「新水道ビジョン」等の基礎資料として、安定した給水の確保と経営基盤確立により今後の事業計画へ反映させる「基本計画」及び計画的かつ合理的な経営を行うための中長期的な経営の基本計画となる「経営戦略」を策定した。									
成果(どのような状態になったか)	健全経営を維持し安心安全な水道を安定供給した。									

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)		
事業費・・・①	0	0	10,098	0			歳入の積算内訳		
内訳	国庫支出金								
	県支出金								
	受益者負担								
	その他特財								
	一般財源	0	0	10,098	0	0	0	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	5,856	5,856	5,806	7,354	0	0	基本計画策定業務委託料	7,452	
内訳	正規職員(人)	0.75	0.75	0.75	0.95			経営戦略策定業務委託料	2,646
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741				
費用合計(①+②)	5,856	5,856	15,904	7,354	0	0			
臨時嘱託等(人)									
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)	基本計画策定業務委託及び経営戦略策定業務委託の実施による								

1. 基本事項

事務事業名	原水及び浄水事業			事務事業コード	424-201-56
総合計画	基本目標	4	社会生活基盤が整い、安全で快適なまち	担当課	上下水道課
	政策名	2	安全安心で住みやすい生活環境基盤を整備する	担当者	伊藤重勝
	施策名	4	安全な水道水の安定供給	内線	357
事業区分	<input type="radio"/> 独自事業 <input checked="" type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input type="radio"/> 評価事業 <input checked="" type="radio"/> 説明事業
法令根拠	水道法、地方公営企業法				
条例・要綱等	新庄市水道事業の設置等に関する条例				
予算・事務事業名	企業会計	1款1項1目	原水及び浄水事業	予算コード	
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	水質基準に適合した安心・安全な水道を安定供給する。	事業内容	原水を安定確保すると共に、浄水施設を適正に維持管理し、安全で安心な水道を安定供給する。		
対象	水道使用者・浄水施設				
目指す状態	安全で安心な水道を安定供給することにより公共の福祉を増進する。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	浄水施設(箇所)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込																					
			実績	4	4	4					6																				
達成率																															
活動指標	指標名称	年間総配水量(千m ³)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画																					
			実績	3,837	3,807	3,861				3,900																					
			達成率	98.4%	97.6%	99.0%																									
成果指標	指標名称	—	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標																					
			実績																												
			達成率																												
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)																														
	「水質検査管理計画」に基づく水質検査																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">検査区分</th> <th>検査内容</th> <th>検査箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">浄水の水質検査</td> <td>毎日検査</td> <td>味、臭気、色度、濁度、PH値、残留塩素濃度</td> <td>末端蛇口 <small>市内7箇所</small></td> </tr> <tr> <td>毎月、年1回検査</td> <td>水道法に基づく項目について(51項目/年1回、9項目/月2回)</td> <td>末端蛇口 <small>水系毎</small></td> </tr> <tr> <td>年4回検査</td> <td>水質基準項目に定めたものについて(22項目)</td> <td>末端蛇口 <small>水系毎</small></td> </tr> <tr> <td>その他の検査(年1回)</td> <td>農薬(120項目)、耐塩素性病原微生物(2項目)</td> <td>末端蛇口</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原水の水質検査</td> <td>水質基準項目のうち消毒副生成物と味を除く40項目、クリプトスポリジウム等の病原性微生物等</td> <td>自己水</td> </tr> </tbody> </table>										検査区分		検査内容	検査箇所	浄水の水質検査	毎日検査	味、臭気、色度、濁度、PH値、残留塩素濃度	末端蛇口 <small>市内7箇所</small>	毎月、年1回検査	水道法に基づく項目について(51項目/年1回、9項目/月2回)	末端蛇口 <small>水系毎</small>	年4回検査	水質基準項目に定めたものについて(22項目)	末端蛇口 <small>水系毎</small>	その他の検査(年1回)	農薬(120項目)、耐塩素性病原微生物(2項目)	末端蛇口		原水の水質検査	水質基準項目のうち消毒副生成物と味を除く40項目、クリプトスポリジウム等の病原性微生物等	自己水
	検査区分		検査内容	検査箇所																											
	浄水の水質検査	毎日検査	味、臭気、色度、濁度、PH値、残留塩素濃度	末端蛇口 <small>市内7箇所</small>																											
毎月、年1回検査		水道法に基づく項目について(51項目/年1回、9項目/月2回)	末端蛇口 <small>水系毎</small>																												
年4回検査		水質基準項目に定めたものについて(22項目)	末端蛇口 <small>水系毎</small>																												
その他の検査(年1回)		農薬(120項目)、耐塩素性病原微生物(2項目)	末端蛇口																												
	原水の水質検査	水質基準項目のうち消毒副生成物と味を除く40項目、クリプトスポリジウム等の病原性微生物等	自己水																												
成果(どのような状態になったか)	水質基準に適合した水道水を安定供給した。																														

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費・・・①	385,623	386,537	383,974	408,617			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
	一般財源	385,623	386,537	383,974	408,617	0	0	主な歳出の内訳
人件費・・・②	5,075	5,075	5,032	5,806	0	0	光熱水費	952
内訳	正規職員(人)	0.65	0.65	0.65	0.75		委託料	4,125
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741		手数料	2,622
費用合計(①+②)	390,698	391,612	389,006	414,423	0	0	修繕費	318
臨時嘱託等(人)	0.20	0.20	0.20	0.00			動力費	9,906
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)							保険料	431
							受水費	353,290

1. 基本事項

事務事業名	配水及び給水事業			事務事業コード	424-202-56
総合計画	基本目標	4	社会生活基盤が整い、安全で快適なまち	担当課	上下水道課
	政策名	2	安全安心で住みやすい生活環境基盤を整備する	担当者	伊藤重勝
	施策名	4	安全な水道水の安定供給	内線	357
事業区分	<input type="radio"/> 独自事業 <input checked="" type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input type="radio"/> 評価事業 <input checked="" type="radio"/> 説明事業
法令根拠	水道法、地方公営企業法				
条例・要綱等	新庄市水道事業の設置等に関する条例				
予算・事務事業名	企業会計	1款1項2目	配水及び給水事業	予算コード	01-020101-0800
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	水質基準に適合した安心・安全な水道を安定供給する。	事業内容	定期的に水質検査、洗管を実施しながら、水質基準に適合した水道水を安定供給する。			
対象	水道使用者、給配水施設					
目指す状態	安全で安心な水道を安定供給する。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()			

3. 実施状況

対象指標	指標名称	説明(算式等)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込
				実績	34,809	34,418	34,170			
	給水人口(人)	まつづくり総合計画(人口フレーム)	達成率							
活動指標	年間総有収水量(千m ³)		年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画
			実績	3,229	3,204	3,183				3,300
			達成率	97.8%	97.1%	96.5%				
成果指標	—		年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標
			実績							
			達成率							
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	目的別給水量	単位:千m ³								
	年度別	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
	家庭用	2,292	2,328	2,304	2,324	2,288	2,265	2,265	2,264	
	営業用	410	408	401	389	384	375	363	364	
	団体用	487	515	500	548	553	573	560	544	
	その他	12	14	12	14	14	16	16	11	
	計	3,201	3,265	3,217	3,275	3,239	3,229	3,204	3,183	0
成果(どのような状態になったか)	水質基準に適合した水道水を安定供給した。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費・・・①	38,374	38,965	35,868	39,012			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
	一般財源	38,374	38,965	35,868	39,012	0	0	主な歳出の内訳
人件費・・・②	5,856	5,856	5,806	8,902	0	0	備消耗品費	172
内訳	正規職員(人)	0.75	0.75	0.75	1.15		燃料費	127
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741		通信運搬費	708
費用合計(①+②)	44,230	44,821	41,674	47,914	0	0	委託料	12,722
臨時嘱託等(人)	0.80	0.80	0.80	0.00			修繕費	8,408
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)							材料費	75
							保険料	346

1. 基本事項

Table with project details including: 事務事業名 (水道料金賦課収納事業), 基本目標 (社会生活基盤が整い、安全で快適なまち), 法令根拠 (水道法、地方公営企業法), 事業区分 (内部事業), 事業期間 (単年度 平成 年度).

2. 事務事業の概要

Table with project overview including: 目的 (公正な水道料金の賦課と収納により水道事業の健全経営を図る。), 対象 (水道使用者), 実施形態 (市直営, 補助・負担, 事務局).

3. 実施状況

Table with performance indicators including: 指標名称 (未納者(人)), 活動指標 (督促状・催告状送付件数), 成果指標 (現年度収納率(%)).

Table with detailed financial data including: 補足説明 (収納の実態), 年度 (H22-H28), 現年度分 (調定額, 収入済み額, 収納率), 滞納分 (調定額, 収入済み額, 収納率).

4. 投入資源

Table with resource input details including: 事業費 (61,553), 人件費 (15,616), 内訳 (国庫支出金, 県支出金, 受益者負担, その他特財, 一般財源).

(PLAN) 計画

(DO) 実行

1. 基本事項

Table with columns for 事務事業名, 総合計画, 事業区分, 法令根拠, 条例・要綱等, 予算・事務事業名, 事業期間, 事務事業コード, 担当課, 担当者, 内線, 評価区分, 予算コード. Content includes '公共下水道処理場維持管理事業' and '社会生活基盤が整い、安全で快適なまち'.

2. 事務事業の概要

Table with columns for 目的, 対象, 目指す, 事業内容, 実施形態. Content includes '公共用水域の水質保全、生活環境の改善。' and '浄化センターの水処理等施設・設備、機器。'.

3. 実施状況

Table with columns for 対象指標, 活動指標, 成果指標, 補足説明, 年度 (H26-H31), H32見込, H32計画, H32目標. Includes sub-tables for 浄化センターの主要施設数, 定期点検回数, 汚水浄化率(BOD除去率) and a detailed 補足説明 section with 浄化センターの処理概要 and 汚泥処理 data.

4. 投入資源

(単位:千円)

Table with columns for 年度 (H26-H31), 事業費, 内訳, 事業費の算出根拠(H28), 歳入の積算内訳, 主な歳出の内訳. Includes sub-tables for 事業費, 内訳, and 事業費の算出根拠.

(PLAN) 計画

(DO) 実行

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	目的が『良好な水環境の保全』そのものである。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	公共下水道計画区域及びその処理区域を確立している。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	不明水の流入防止、基準外水質水流入防止対策を講じる必要がある。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	将来事業費削減のためにも、管路施設も含む計画的な修繕が必要だが、現状では十分に実施できていない。
	⑤人員や実施形態は 適正か	○ 改善の余地がない ● 改善の余地がある	市の中期財政計画で管路整備費が抑えられているが、管路施設の整備面積を早期拡張すれば、より効率的な維持管理ができる。
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	既に新庄市浄化センターを中核施設として、各処理場施設(6町村)を協同管理している。
	⑦官民協働できるか	● できない ○ できる	下水道法により、市町村が管理することとなっている。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	流入汚水量に合わせた適正な維持管理を行っており、放流水質も十分に基準を満たしている。また、発生汚泥も燃料化施設に搬出し有効利用されている。

(CHECK) 自己評価

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
不明水の流入防止、基準外水質水流入防止対策を行っておらず、前回の評価からの課題の改善はなく、引き続き問題意識を持つ必要がある。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

公共汚水樹については、年次計画に基づき目視点検を実施した。その他改善方法における取り組みはほとんど行っていない。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
管路施設の修繕、特定施設・除外施設の管理手法の確立や体制強化を行うこと。また、修繕計画を策定し、適正な修繕を行うこと。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	不明水の流入防止、基準外水質水流入防止対策を講じる必要がある。また、施設の計画的な修繕を行う必要がある。	所属長評価	不明水の流入防止、基準外水質水流入防止対策を講じる必要がある。また、施設の計画的な修繕を行う必要がある。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	公共下水道管渠維持管理事業			事務事業コード	425-102-56
総合計画	基本目標	4	社会生活基盤が整い、安全で快適なまち	担当課	上下水道課
	政策名	2	安全安心で住みやすい生活環境基盤を整備する	担当者	阿部和也
	施策名	5	良好な水環境の保全	内線	334
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠	下水道法				
条例・要綱等	新庄市下水道下水道条例、同条例施行規則				
予算・事務事業名	公共下水道事業特別会計	1款2項2目	管渠維持管理事業費	予算コード	05-010202-0100
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 昭和 63 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	良好な水環境の保全。	事業内容	管渠清掃、マンホールポンプ保守点検、下水道台帳整備、マンホール周り舗装について、定期的安全パトロールの実施及び交換、修繕を実施する。			
対象	汚水管渠、マンホール、マンホールポンプ、公共汚水樹。					
目指す状態	各施設の機能保持。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()			

3. 実施状況

対象指標	指標名称	管渠維持管理延長(m)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込
			実績	95,633	97,141	98,230				
説明(算式等)	整備済み管路施設施工延長	達成率								
活動指標	指標名称	安全点検回数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画
			実績	3	3	3				3
説明(算式等)	達成率	100.0%	100.0%	100.0%						
成果指標	指標名称	年間管渠清掃延長(m)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標
			実績	1,049	2,119	2,140				5,000
説明(算式等)	達成率	21.0%	42.4%	42.8%						
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	※ なお、上記延長には、民間による宅地開発に伴う帰属分の延長は含まれていない。(H28末現在の管理延長L=102,278m)									
成果(どのような状態になったか)	H23. 3. 11地震以降、特に舗装路面点検を重点に対応している。不明水対策はほとんど実施することができなかった。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費・・・①	23,972	16,063	17,797	17,350			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金						使用料	17,797
	県支出金							
	受益者負担	23,972	16,063	17,797	17,350			
	その他特財							
一般財源	0	0	0	0	0	0	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	3,279	3,279	3,251	3,174	0	0	修繕費(舗装補修、汚水樹設置等)	6,594
内訳	正規職員(人)	0.42	0.42	0.42	0.41		委託費(台帳整備)	1,944
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741		委託費(マンP管理清掃、管路清掃)	7,061
費用合計(①+②)	27,251	19,342	21,048	20,524	0	0	他	2,198
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)							計	17,797

(PLAN) 計画

(DO) 実行

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的妥当性	①事務事業の目的が施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	目的が『良好な水環境の保全』そのものである。
	②対象や目指す状態が適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	市全体の生活排水処理施設整備計画のうち、公共下水道計画区域及びその処理区域を確立している。
有効性	③成果の向上余地がないか	<input type="radio"/> 向上の余地がない <input checked="" type="radio"/> 向上の余地がある	不明水の流入防止対策を講じる必要がある。
効率性	④成果を下げずに事業費を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある	管路への不明水の流入防止対策を講じる必要があるが、現状では十分に実施できていない。
	⑤人員や実施形態は適正か	<input type="radio"/> 改善の余地がない <input checked="" type="radio"/> 改善の余地がある	適正な維持管理計画を策定し、不明水の流入防止対策について調査と修繕を実施する必要がある。
	⑥他自治体と連携できるか	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	現段階では有効な共同管理等の方法がない。
	⑦官民協働できるか	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	下水道法により、市町村が管理することとなっている。
	⑧地域の課題や実情に合わせた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	地域の実情に合わせた生活排水処理方式として、公共下水道で整備した管路施設を維持管理する事業である。

(ACTION) 改善

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
不明浸入水の防止対策や管路清掃延長の増など前回評価からの課題の改善はなく、引き続き問題意識を持つ必要がある。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

管路管理延長約102kmのうち、年間約2km程度の清掃しか行えていない。また、不明水対策にあつてはほとんど行えていない状況である。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
計画的に不明水対策、管路清掃を実施していく必要がある。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	不明水対策、管路清掃については、充分な対応は取られていない状況であり、計画的な対策を講じる必要がある。	所属長評価	不明水対策、管路清掃については、充分な対応は取られていない状況であり、計画的な対策を講じる必要がある。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	都市下水道維持管理事業			事務事業コード	425-103-56
総合計画	基本目標	4	社会生活基盤が整い、安全で快適なまち	担当課	上下水道課
	政策名	2	安全安心で住みやすい生活環境基盤を整備する	担当者	渡部啓之
	施策名	5	良好な水環境の保全	内線	334
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠	下水道法				
条例・要綱等	新庄市下水道条例、同条例施行規則				
予算・事務事業名	一般会計	8款4項2目	都市下水道整備事業費	予算コード	01-080402-0200
事業期間	○ 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	○ 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	● 単年度繰り返し(継続) 開始年度 昭和 40 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	都市の浸水防除	事業内容	整備済み都市下水道についての機能の保持と維持及び安全対策の実施。		
対象	都市下水道				
目指す状態	浸水区域の雨水を速やかに排除し、安全な生活を確保する。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	都市下水道整備済み延長(m)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込																																							
	実績		実績	10,275	10,275	10,275				10,275																																							
活動指標	指標名称	都市下水道安全点検回数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画																																							
	実績		実績	3	3	3																																											
成果指標	指標名称	都市下水道維持管理延長(m)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標																																							
	実績		実績	10,275	10,275	10,275				10,275																																							
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)																																																
	都市下水道の整備状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>住吉川</th> <th>末広</th> <th>中の川</th> <th>三の堀</th> <th>末広第2</th> <th>緑町</th> <th>矢目田川</th> <th>福田</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>整備年次</td> <td>S40~S43</td> <td>S43~S46</td> <td>S47~S52</td> <td>S47~S52</td> <td>S53~S54</td> <td>S57~S62</td> <td>S47</td> <td>S56~H14</td> <td>8路線</td> </tr> <tr> <td>排水面積 (ha)</td> <td>25</td> <td>42</td> <td>1520</td> <td>31</td> <td>31</td> <td>17</td> <td>270</td> <td>119</td> <td>2,055</td> </tr> <tr> <td>整備延長 (m)</td> <td>863</td> <td>1,380</td> <td>1,460</td> <td>1,288</td> <td>553</td> <td>890</td> <td>153</td> <td>3,688</td> <td>10,275</td> </tr> </tbody> </table>										区分	住吉川	末広	中の川	三の堀	末広第2	緑町	矢目田川	福田	計	整備年次	S40~S43	S43~S46	S47~S52	S47~S52	S53~S54	S57~S62	S47	S56~H14	8路線	排水面積 (ha)	25	42	1520	31	31	17	270	119	2,055	整備延長 (m)	863	1,380	1,460	1,288	553	890	153	3,688
区分	住吉川	末広	中の川	三の堀	末広第2	緑町	矢目田川	福田	計																																								
整備年次	S40~S43	S43~S46	S47~S52	S47~S52	S53~S54	S57~S62	S47	S56~H14	8路線																																								
排水面積 (ha)	25	42	1520	31	31	17	270	119	2,055																																								
整備延長 (m)	863	1,380	1,460	1,288	553	890	153	3,688	10,275																																								
成果(どのような状態になったか)	市内河川の整備とともに、大規模な浸水被害は無くなってきている。																																																

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費・・・①	359	114	5,208	6,717			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	359	114	5,208	6,717	0	0	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	1,718	1,718	1,718	1,703	0	0	修繕料	2,268
内訳	正規職員(人)	0.22	0.22	0.22	0.22		保険料	7
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741		管理業務委託料	175
費用合計(①+②)	2,077	1,832	6,926	8,420	0	0	土地借上料	4
臨時嘱託等(人)							工事請負費	2,754
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)	中の川管理ゲート開閉器交換修繕及び城南町雨水排水路整備工事を施工したため増額になった。						計	5,208

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	「良好な水環境の保全」として浸水防除を主とする。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	浸水(雨水排水)対策は国、自治体の責務。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	中の川の管理ゲート開閉器交換修繕や地域住民から要望のあった城南町雨水排水路の整備を実施する。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	必要最小限の浸水対策を実施している。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	同上。
	⑥他自治体と連携できる か	● できない ○ できる	市管理の施設であり、連携はできない。
	⑦官民協働できるか	● できない ○ できる	同上。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	水路清掃、除草等の中で市民との協働が不可の部分については、本年度業務委託で対応した。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
前年度同様、計画的修繕・維持管理が必要。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

平成28年度より、都市下水路の一部で草刈りと土砂の浚渫作業の業務委託を実施している。また、住民からの連絡を受けて現場状況を確認し、適切な修繕・清掃を行なうことができる体制を整えている。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
前年度同様、計画的な修繕・維持管理が必要。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	直営作業や地元対応で不可能な部分の修繕や除草・清掃等は、計画的に実施できるようにしなければならない。	所属長評価	直営作業や地元対応で不可能な部分の修繕や除草・清掃等は、計画的に実施できるようにしなければならない。 地元からの要望がある雨水排水路の整備工事を計画的に実施したい。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

(PLAN) 計画

1. 基本事項

事務事業名	公共下水道処理場増設・改築更新事業			事務事業コード	425-104-56
総合計画	基本目標	4	社会生活基盤が整い、安全で快適なまち	担当課	上下水道課
	政策名	2	安全安心で住みやすい生活環境基盤を整備する	担当者	豊嶋 法皇
	施策名	5	良好な水環境の保全	内線	333
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠	下水道法				
条例・要綱等	新庄市下水道条例、同条例施行規則				
予算・事務事業名	公共下水道事業特別会計	2款1項2目	処理場建設事業費(補助)	予算コード	05-020102-0201
事業期間	○ 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	○ 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	● 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 18 年度~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	公共用水域の水質保全、生活環境の整備。	事業内容	日本下水道事業団に実施設計、詳細設計業務を委託し、H18~24年を事業期間として増・改築工事を実施した。 H25から5カ年ごとの長寿命化計画を策定し、施設の増設・改築・更新事業を継続実施。 H28に下水道ストックマネジメント計画を作成。H29より同計画に移行。
対象	浄化センター内の水処理設備・汚泥処理設備、機器		
目指す状態	設備機器の老朽化に伴い水処理施設・汚泥処理施設等の設備機器の改築更新工事をし、持続可能な施設運営を実施する。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()

3. 実施状況

対象指標	指標名称	浄化センターの主要施設数(全5棟)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込																																																																																																																																																										
	実績			4	4	5																																																																																																																																																														
活動指標	指標名称	事業費累計(百万円)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画																																																																																																																																																										
	実績			106	259	302				832																																																																																																																																																										
成果指標	指標名称	処理能力(m ³ /日)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標																																																																																																																																																										
	実績			12,000	12,000	12,000				12,000																																																																																																																																																										
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)																																																																																																																																																																			
	浄化センター年次別事業費(下水道事業団委託分) 単位:百万円 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>工種</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水処理設備</td> <td>35</td> <td>109</td> <td></td> <td>56</td> <td>167</td> <td>171</td> <td>設計</td> <td>10.0</td> <td></td> <td></td> <td>43.0</td> <td>12.0</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>汚泥処理設備</td> <td>39</td> <td>66</td> <td>157</td> <td>61</td> <td></td> <td></td> <td>土木</td> <td></td> <td>2.9</td> <td></td> <td></td> <td>3.4</td> <td>7.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電気設備</td> <td>88</td> <td>51</td> <td>88</td> <td>170</td> <td>143</td> <td>165</td> <td>建築</td> <td></td> <td>56.0</td> <td>64.0</td> <td></td> <td>18.1</td> <td>55.3</td> <td>28.9</td> </tr> <tr> <td>設計業務委託</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>6</td> <td></td> <td>8</td> <td>6</td> <td>建築設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>33.5</td> <td>79.9</td> <td>35.5</td> </tr> <tr> <td>市費</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td>7</td> <td>機械</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>25.2</td> <td>134.5</td> <td>137.9</td> </tr> <tr> <td>事業費計</td> <td>176</td> <td>239</td> <td>258</td> <td>287</td> <td>318</td> <td>349</td> <td>電気</td> <td></td> <td>37.1</td> <td>89.2</td> <td></td> <td>73.2</td> <td>229.2</td> <td>100.36</td> </tr> <tr> <td>累計</td> <td>176</td> <td>415</td> <td>673</td> <td>960</td> <td>1,278</td> <td>1,627</td> <td>事業費計</td> <td>10.0</td> <td>96.0</td> <td>153.2</td> <td>43.0</td> <td>165.4</td> <td>505.9</td> <td>302.7</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10.8%</td> <td>25.5%</td> <td>41.4%</td> <td>59.0%</td> <td>78.5%</td> <td>100.0%</td> <td>累計</td> <td>10.0</td> <td>106.0</td> <td>259.2</td> <td>302.2</td> <td>467.6</td> <td>505.9</td> <td>808.6</td> <td>832.4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2.1%</td> <td>22.7%</td> <td>55.4%</td> <td>64.6%</td> <td>100.0%</td> <td>60.8%</td> <td>97.1%</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>											工種	H19	H20	H21	H22	H23	H24	工種	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	水処理設備	35	109		56	167	171	設計	10.0			43.0	12.0				汚泥処理設備	39	66	157	61			土木		2.9			3.4	7.1		電気設備	88	51	88	170	143	165	建築		56.0	64.0		18.1	55.3	28.9	設計業務委託	10	8	6		8	6	建築設備					33.5	79.9	35.5	市費	4	5	7			7	機械					25.2	134.5	137.9	事業費計	176	239	258	287	318	349	電気		37.1	89.2		73.2	229.2	100.36	累計	176	415	673	960	1,278	1,627	事業費計	10.0	96.0	153.2	43.0	165.4	505.9	302.7		10.8%	25.5%	41.4%	59.0%	78.5%	100.0%	累計	10.0	106.0	259.2	302.2	467.6	505.9	808.6	832.4									2.1%	22.7%	55.4%	64.6%	100.0%	60.8%	97.1%
工種	H19	H20	H21	H22	H23	H24	工種	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32																																																																																																																																																					
水処理設備	35	109		56	167	171	設計	10.0			43.0	12.0																																																																																																																																																								
汚泥処理設備	39	66	157	61			土木		2.9			3.4	7.1																																																																																																																																																							
電気設備	88	51	88	170	143	165	建築		56.0	64.0		18.1	55.3	28.9																																																																																																																																																						
設計業務委託	10	8	6		8	6	建築設備					33.5	79.9	35.5																																																																																																																																																						
市費	4	5	7			7	機械					25.2	134.5	137.9																																																																																																																																																						
事業費計	176	239	258	287	318	349	電気		37.1	89.2		73.2	229.2	100.36																																																																																																																																																						
累計	176	415	673	960	1,278	1,627	事業費計	10.0	96.0	153.2	43.0	165.4	505.9	302.7																																																																																																																																																						
	10.8%	25.5%	41.4%	59.0%	78.5%	100.0%	累計	10.0	106.0	259.2	302.2	467.6	505.9	808.6	832.4																																																																																																																																																					
								2.1%	22.7%	55.4%	64.6%	100.0%	60.8%	97.1%	100.0%																																																																																																																																																					
成果(どのような状態になったか)	事故の未然防止及びライフサイクルコストの最小化、また、交付金事業対象施設の長寿命化対策(改築・更新等)により予防保全的な管理を実施できた。																																																																																																																																																																			

(DO) 実行

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費・・・①	57,128	153,488	43,000	198,049			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金	30,400	82,600	21,500	105,880		防災・安全交付金	
	県支出金						実施設計:43,000千円*5/10	
	受益者負担	2,850	7,988	0	3,936		公共下水道事業債	
	その他特財	23,700	62,900	19,300	82,200			
	一般財源	178	0	2,200	6,033			
人件費・・・②	3,670	3,670	3,638	2,400	0	0	建設工事委託費(下水道事業団)	
内訳	正規職員(人)	0.47	0.47	0.47	0.31		実施設計及び再構築基本設計43,000千円	
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741			
費用合計(①+②)	60,798	157,158	46,638	200,449	0	0		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)	H26.H27の2カ年工事を実施しており、H27分の工事期間及び費用の割合が多いため。							

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	『良好な自然環境の保全』の公共下水道事業基幹施設である。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	公共施設として市が設置管理すべき施設である。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	現時点で国の交付金及び市の財政状況下の中での改築・更新事業を行っている。
効率性	④成果を下げずに事業費を 削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	現時点で国の交付金及び市の財政状況下の中で効率的に改築・更新事業を行っている。改築・更新にかかる資機材の高騰により削減することは難しい。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	事業計画、進行管理、現場の作業調整には人員が必要。
	⑥他自治体と連携できる か	● できない ○ できる	処理場増設・改築更新については連携できるものではない。
	⑦官民協働できるか	● できない ○ できる	現在実施している、長寿命化計画の処理場改築・更新等は市が実施することとなっている。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	下水道法により、市が管理することとなっている施設の適正な稼働を維持する必要がある。

(CHECK) 自己評価

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
国の交付金対象事業として実施できる部分以外の更新、修繕が計画的にできない状況である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

国の交付金対象事業となる改築更新部分については、H24に策定した長寿命化計画に基づき、H25に実施設計、H26から改築更新等の工事を実施している。交付金対象事業以外の部分についての計画は確立していない。 H29からはストックマネジメント計画に基づいた事業となるが、国の交付金対象事業はこれまで同様である。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
実施予定の改築更新事業で、国の交付金対象事業以外の設備なども含めて、できるだけ細部にわたる更新、修繕を実施したい。

(ACTION) 改善

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	国の交付金対象事業となる改築更新の実施は、ほぼ計画どおり進めることができた。交付金対象事業では対応できない部分の老朽化が目立ってきているので、できるだけ実施できるように計画する。	所属長評価	今回は設計業務のみであったが、国の交付金対象事業は計画どおり進めることができた。次年度の改築更新も計画どおり実施していきたい。また、交付金対象事業では対応できない部分の老朽化が目立ってきているので、できるだけ実施できるように計画する。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

Table with 4 columns: 事務事業名, 総合計画, 事業区分, 法令根拠, etc. Content includes '公共下水道管渠整備事業(汚水)', '社会生活基盤が整い、安全で快適なまち', '下水道法', '新庄市下水道条例、同条例施行規則', '公共下水道事業特別会計 2款1項2目 管渠建設事業費(汚水補助)', '05-020102-0101'.

2. 事務事業の概要

Table with 3 columns: 目的, 対象, 実施形態. Content includes '公共用水域の水質保全、生活環境の改善のため。', '下水道管渠(汚水)', '下水道事業計画区域内の整備面積の拡大。', '市直営', '全部委託', '一部委託', '補助・負担', '市民協働', '指定管理', '事務局', 'その他'.

3. 実施状況

Table with 10 columns: 対象指標, 指標名称, 年度, H26, H27, H28, H29, H30, H31, H32見込. Content includes '下水道整備が完了し下水道利用可能となった者', '整備人口', '管渠布設延長(m)', '総整備面積(ha)', 'H32見込 21,041', 'H32計画', 'H32目標 563'.

Table with 20 columns: 年度, S56, S57, S58, S59, S60, S61, S62, S63, H1, H2, H3, H4, H5, H6, H7, H8, H9, H10. Content includes '事業計画の概要', '年次別整備面積の推移', '単位:ha', '※下段は、累計値 認可計画対整備率 71.2%'.

成果(どのような状態になったか) 下水道事業計画の効率的な遂行や市の振興計画の目標を達するまでの整備率には程遠いが、着実に面整備を実施している。

4. 投入資源

(単位:千円)

Table with 7 columns: 年度, H26, H27, H28, H29, H30, H31. Content includes '事業費... ①', '国庫支出金', '県支出金', '受益者負担', 'その他特財', '一般財源', '人件費... ②', '正規職員(人)', '1人当たり単価', '費用合計(①+②)', '臨時嘱託等(人)', '事業費増減の理由(30%以上増減の場合)'.

(PLAN) 計画

(DO) 実行

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	「良好な水環境の保全」の公共下水道事業基幹施設である。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	公共下水道事業計画の一環として行っている。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	管渠施設整備面積を増やすことで、もっと効率的な処理場の維持管理が可能となる。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	コスト削減には継続して努めているが、事業費の増が計画遂行には必要。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	事業計画作成、工事発注、管理は直営で対応している。
	⑥他自治体と連携できる か	● できない ○ できる	現時点では、可能かどうか判断出来ない状況である。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	事業計画内容について市民の審査や意見を取り入れれば、効率の良い事業遂行が可能である。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	● なっていない ○ なっている	下水道整備計画区域内において、空家・老人世帯が多くなっており、受益者の負担が大きい。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
管路整備が、整備目標(計画)との間に差がありすぎて、将来の整備計画について住民説明が明確に出来ない状況が続いている。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

財源確保が厳しい状況の中、平成28年度についても、管路整備費を前年度並み確保している。次年度以降も管路整備を重点的に実施したい。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
補助金交付の内示率が年々低下している中、前年度並みの財源確保のもと管路整備を行ったが、まだ住民の要望に応えることが出来ない。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	整備面積で503haが完了し、行政人口に対する普及率が51.9%となった。しかし、公共用水域の水質保全、生活環境の改善は喫緊の課題でもあり、整備面積の早期拡大が必要である。	所属長評価	整備面積で509haが完了し、行政人口に対する普及率が52.5%となった。しかし、公共用水域の水質保全、生活環境の改善は喫緊の課題でもあり、整備面積の早期拡大が必要である。
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現行 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	公共下水道普及事業			事務事業コード	425-106-56
総合計画	基本目標	4	社会生活基盤が整い、安全で快適なまち	担当課	上下水道課
	政策名	2	安全安心で住みやすい生活環境基盤を整備する	担当者	大又勇美
	施策名	5	良好な水環境の保全	内線	332
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠	下水道法				
条例・要綱等	新庄市下水道条例、同施行規則				
予算・事務事業名	公共下水道事業特別会計	1款1項1目	一般管理事業費	予算コード	05-010101-0400
事業期間	<input type="radio"/> 単年度		事業年度 平成 年度	(1年限りの事業)	
	<input type="radio"/> 期間限定		始期 年度 ~ 終期 年度	(独自事業は基本的に平成32年まで)	
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続)		開始年度 平成 年度 ~	(期限の定めのない事業)	

2. 事務事業の概要

目的	公共下水道への接続を推進する。	事業内容	普及推進活動 ①全国下水道の日の実施 ②下水道利用依頼文書の送付 ③下水道未接続世帯訪問 ④下水道事業に関する広報の実施		
対象	下水道供用区域内にある一般家屋、アパート、会社、工場、施設等の所有者。				
目指す状態	公共下水道への早期接続により公共水域の良好な水環境を保全する。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	説明(算式等)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込		
			実績	19,097	19,114	19,157						19,200
			達成率									
活動指標	指標名称	説明(算式等)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画		
			実績	331	131	346					150	
			達成率	220.7%	87.3%	230.7%						
成果指標	指標名称	説明(算式等)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標		
			実績	130	125	123					130	
			達成率	100.0%	96.2%	94.6%						
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)											
	宅内排水工事検査件数、指定店、責任技術者登録者数の推移											
		区分	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
		宅内排水工事検査件数	98	125	107	108	132	128	110	130	125	123
	指定店数	91	89	88	88	89	82	83	83	84	82	
	責任技術者登録者数	304	290	273	244	240	235	244	247	193	197	
	水洗化率の推移(※平成25年度より水洗化人口の算出方式を変更したため減少した)											
	公示区域内人口	18,540	18,370	18,654	18,837	18,910	19,026	18,678	19,097	19,114	19,157	
	水洗化済人口	15,980	16,116	16,305	16,473	16,578	16,699	15,220	15,346	15,314	15,282	
成果(どのような状態になったか)	水洗化件数については、年々伸びてきている。引き続き下水道工事指定店協議会と連携しながら水洗化率の向上を図る。											

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費・・・①	164	126	132	446			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金						下水道使用料	126
	県支出金							
	受益者負担	164	126	132	446			
	その他特財							
一般財源	0	0	0	0	0	0	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	4,919	4,919	4,877	3,329	0	0	地上権設定囑託登記業務委託	16
内訳	正規職員(人)	0.63	0.63	0.63	0.43		看板製作業務委託料	63
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741		消耗品	47
費用合計(①+②)	5,083	5,045	5,009	3,775	0	0		
臨時囑託等(人)	0.80	0.80	0.80	0.80				
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

(CHECK) 自己評価

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	<input checked="" type="radio"/> 結びついている <input type="radio"/> 見直しの余地がある	下水道使用者の増加により水環境の保全に結びついている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	<input checked="" type="radio"/> 適切である <input type="radio"/> 見直しの余地がある	未接続者を対象としているため適切である。
有効性	③成果の向上余地がない か	<input checked="" type="radio"/> 向上の余地がない <input type="radio"/> 向上の余地がある	接続には、多額の費用負担が伴うため成果がなかなか上がらない。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	<input checked="" type="radio"/> 削減の余地がない <input type="radio"/> 削減の余地がある	殆どが人件費であり削減の余地はない。
	⑤人員や実施形態は 適正か	<input checked="" type="radio"/> 改善の余地がない <input type="radio"/> 改善の余地がある	指定下水道工事店と協力し実施している。
	⑥他自治体と連携できる か	<input checked="" type="radio"/> できない <input type="radio"/> できる	連携できる事業ではない。
	⑦官民協働できるか	<input type="radio"/> できない <input checked="" type="radio"/> できる	下水道工事指定店と連携し実施している。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	<input type="radio"/> なっていない <input checked="" type="radio"/> なっている	良好な水環境の保全のため必要な事業である。



6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
新築や増改築に伴う接続や管渠布設工事完了後すぐに接続するケースが少しずつ増えている。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

下水道工事指定店との連携で、「下水道コンクール」を実施、ポスターの募集、標語の募集(小学生を対象)を行なう。入賞作品を「ゆめりあ」に展示しPR活動に活用する。 また、普及活動として未接続家庭への戸別訪問を実施する。
--

(ACTION) 改善

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
下水道の普及啓蒙を図るとともに、機会を捉え効果的な普及活動を継続する。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	普及活動の効果は着実に表れている。未接続家庭への戸別訪問の他、指定店への営業活動の依頼や機を見た広報を行いさらなる水酸化向上に努める。	所属長評価	普及活動の効果は着実に表れている。未接続家庭への戸別訪問の他、指定店への営業活動の依頼や機を見た広報など効果的な普及活動を継続する。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名			水洗便所改造等資金融資幹旋・利子補給事業					事務事業コード	425-107-56			
総合計画	基本目標	4 社会生活基盤が整い、安全で快適なまち								担当課	上下水道課	
	政策名	2 安全安心で住みやすい生活環境基盤を整備する								担当者	大又勇美	
	施策名	5 良好な水環境の保全								内線	332	
事業区分			<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業					
法令根拠												
条例・要綱等			新庄市水洗便所改造等資金融資幹旋及び利子補給規程(H元.7月)									
予算・事務事業名			公共下水道事業特別会計 1款1項1目 一般管理事業費					予算コード	05-010101-0400			
事業期間			<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業) <input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで) <input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度 ~ (期限の定めが無い事業)									

2. 事務事業の概要

目的	公共下水道への接続を図るため、融資の幹旋とともに利子補給する。	事業内容	・市による金融機関への融資幹旋 ・融資限度額 自宅...100万円 貸家等...最高200万円 ・利子補給 ①供用開始3ヵ年3ヵ月以内に完成検査を終えた方...利子補給 ②供用開始3ヵ年3ヵ月を過ぎて完成検査を終えた方...利子補給なし ・返済方法 5年(60ヶ月)以内の元金均等償還		
対象	新庄市公共下水道の供用開始区域内で、既設汲取り便所を水洗便所に改造する工事及び宅内排水設備工事を行う者。				
目指す状態	公共下水道への早期接続。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 事務局	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> その他 ()	<input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理

3. 実施状況

対象指標	指標名称	対象となる宅内排水設備工事を行う者	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込		
	説明(算式等)	改造工事件数	実績	56	71	5				80		
活動指標	指標名称	融資幹旋件数(件)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画		
	説明(算式等)		実績	3	3	2				5		
成果指標	指標名称	利子補給件数(件)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標		
	説明(算式等)		実績	23	18	10				-		
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)											
	制度利用者の推移 単位:千円											
		区分	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
		融資あつ旋件数	1	7	3	5	2	2	3	3	2	2
		金額	850	4,070	2,050	3,170	2,000	740	1,220	2480	1,500	1,210
		1件@金額	850	581	683	634	1,000	370	407	827	750	605
		利子補給金額	296	207	160	129	112	83	53	37	20	15
		利子補給件数	106	85	60	46	34	28	29	23	18	10
		制度対象工事件数	86	125	59	87	63	39	23	40	34	12
	成果(どのような状態になったか)	事業説明会時や工事の際に制度利用のPR活動は行っているが、近年は利用件数が少ない傾向にある。引き続き指定下水道工事店等を通じて啓蒙を図る。										

4. 投入資源

(単位:千円)

年 度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)					
事業費 ... ①	37	20	15	46			歳入の積算内訳					
内 訳	国庫支出金										下水道使用料	15
	県支出金											
	受益者負担	37	20	15	46							
	その他特財											
主な歳出の内訳												
人件費 ... ②	1,718	1,718	1,703	1,703	0	0	水洗便所改造等資金融資幹旋利子補給補助金					15
内 訳	正規職員(人)	0.22	0.22	0.22	0.22							
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741							
費用合計(①+②)		1,755	1,738	1,718	1,749	0	0					
臨時嘱託等(人)												
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)												

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	利用者が少ないものの、結果がでている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	利子を補助金として、支出しているため、適切である。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	融資斡旋制度の啓蒙を図る。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	利率が決まっているため削減できない。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	指定下水道工事店と連携し実施しているため適正。
	⑥他自治体と連携できる か	● できない ○ できる	連携できる事業ではない。
	⑦官民協働できるか	● できない ○ できる	協働できる事業ではない。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	接続工事費の負担を支援している。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
事業説明会等での制度の活用について説明しているが、指定下水道工事店と連携を図りさらなる周知が必要である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

事業説明会や工事の着手時等、本人や指定下水道工事店へ制度の説明を行なう。

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
宅内排水設備の確認申請時に、指定下水道工事店を通して制度利用の有無を再確認する。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	斡旋件数は低迷しているが、下水道接続費用の経費軽減に係わる唯一の施策であるため、今後も指定下水道工事店と連携し周知を図る。	所属長評価	斡旋件数は少ないが、下水道接続費用の経費軽減に係わる唯一の施策であるため、今後も指定下水道工店と連携し周知を図る。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	公共下水道汚泥の有効利用事業			事務事業コード	425-108-56
総合計画	基本目標	4	社会生活基盤が整い、安全で快適なまち	担当課	上下水道課
	政策名	2	安全安心で住みやすい生活環境基盤を整備する	担当者	大又勇美
	施策名	5	良好な水環境の保全	内線	332
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠					
条例・要綱等					
予算・事務事業名	公共下水道事業特別会計	1款1項3目	汚泥燃料化推進事業費	予算コード	05-010103-0100
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)				
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)				
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度 ~ (期限の定めの無い事業)				

2. 事務事業の概要

目的	汚泥の有効利用と汚泥処分費の削減を図る。	事業内容	市内民間事業者が、NEDO産業技術開発機構の研究事業として浄化センター隣接地に汚泥燃料化施設を設置し、本市等から排出される下水道汚泥を燃料化して大手製紙会社の自家用発電燃料(石炭の補助燃料)として供給利用する。		
対象	下水処理場やし尿処理場から発生する汚泥。				
目指す状態	汚泥の有効利用と汚泥処分費の削減を図るとともに、地球環境保全にも寄与する。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	下水処理場やし尿処理場から発生する汚泥	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込																															
	説明(算式等)		実績	8,275	8,573	8,231				8,600																															
活動指標	指標名称	汚泥排出量(t)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画																															
	説明(算式等)		実績	2,149	2,022	2,053				2,200																															
成果指標	指標名称	発生汚泥の有効活用量(単位:t)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標																															
	説明(算式等)		実績	2,149	2,022	2,053				2,200																															
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)																																								
	汚泥燃料化設備に関し、平成24年4月1日付けで、バイオソリッドエナジー(株)社へ新庄市持ち分資産の無償譲渡を行い、本格的な稼働運転に移行したことから、側面(発生汚泥の処分先として)からの事業支援を行なっている。 平成28年度の汚泥の受入実績 受け入れ先 単位:t <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>新庄市</td> <td>2,053</td> <td>舟形町</td> <td>176</td> <td>尾花沢・大石田</td> <td>476</td> <td>萩野農集</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>最上町</td> <td>181</td> <td>大蔵村</td> <td>97</td> <td>米沢</td> <td>153</td> <td>山形県流域</td> <td>2,137</td> </tr> <tr> <td>戸沢村</td> <td>42</td> <td>真室川町</td> <td>89</td> <td>寒河江</td> <td>520</td> <td>最上広域</td> <td>1,277</td> </tr> <tr> <td>金山町</td> <td>176</td> <td>鶴岡市</td> <td>813</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>										新庄市	2,053	舟形町	176	尾花沢・大石田	476	萩野農集	42	最上町	181	大蔵村	97	米沢	153	山形県流域	2,137	戸沢村	42	真室川町	89	寒河江	520	最上広域	1,277	金山町	176	鶴岡市	813			
新庄市	2,053	舟形町	176	尾花沢・大石田	476	萩野農集	42																																		
最上町	181	大蔵村	97	米沢	153	山形県流域	2,137																																		
戸沢村	42	真室川町	89	寒河江	520	最上広域	1,277																																		
金山町	176	鶴岡市	813																																						
成果(どのような状態になったか)	汚泥処分先の安定確保と汚泥の有効利用により、環境保全につながった。																																								

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)
事業費・・・①	0	0	0	0			歳入の積算内訳
内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	受益者負担						
	その他特財						
一般財源	0	0	0	0	0	0	主な歳出の内訳
人件費・・・②	703	703	697	619	0	0	
内訳	正規職員(人)	0.09	0.09	0.09	0.08		
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741		
費用合計(①+②)	703	703	697	619	0	0	
臨時嘱託等(人)							
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)							

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	汚泥の有効利用、汚泥運搬費の削減につながっている。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	発生汚泥の有効活用と経費削減のため適切である。
有効性	③成果の向上余地がない か	● 向上の余地がない ○ 向上の余地がある	汚泥の有効利用、汚泥運搬費を削減している。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	人件費のみのため削減できない。
	⑤人員や実施形態は 適正か	● 改善の余地がない ○ 改善の余地がある	汚泥処理業務委託と下水道使用料の軽減の事務をおこなっている。
	⑥他自治体と連携できる か	○ できない ● できる	最上圏域下水道共同管理協議会で連携し汚泥処理をしている。
	⑦官民協働できるか	○ できない ● できる	協働で実施している。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	経費削減と環境保全に貢献している。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
汚泥の運搬費が削減できることから、市浄化センター及び萩野地区農集処理施設で発生した汚泥の処分先として今後も活用する。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

共同研究事業として立ち上げたことや、市の浄化センター処理水の有効利用という観点から、バイオンリッドエナジーの機械冷却用水として処理水を提供している。また、下水道使用料について軽減措置を行っている。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
汚泥燃料化施設の安定操業と経営の健全化のため支援・指導を続ける。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	引続き経営の安定化に向けて側面からの支援していく必要がある。	所属長評価	汚泥運搬費の削減のメリットがあるため、引続き経営の安定化に向けて側面からの支援していく必要がある。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				

1. 基本事項

事務事業名	公共下水道計画策定・進行管理事務				事務事業コード	425-109-56	
総合計画	基本目標	4	社会生活基盤が整い、安全で快適なまち			担当課	上下水道課
	政策名	2	安全安心で住みやすい生活環境基盤を整備する			担当者	大又勇美
	施策名	5	良好な水環境の保全			内線	332
事業区分	<input type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input checked="" type="radio"/> 内部事業		評価区分	<input type="radio"/> 評価事業 <input checked="" type="radio"/> 説明事業			
法令根拠	下水道法						
条例・要綱等	新庄市下水道条例、同施行規則						
予算・事務事業名	公共下水道事業特別会計	1	款1	項1	目	職員給与費	予算コード 05-010101-0100
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業)						
	<input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで)						
	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 平成 年度 ~ (期限の定めのない事業)						

2. 事務事業の概要

目的	計画の進行管理とともに適切な事業選択や整備計画を決定する。	事業内容	下水道計画の進行管理とともに適切な事業選択や整備計画を決定し、山形県全域生活排水処理施設整備基本構想の見直しなどに反映させる。			
対象	下水道事業(下水道関連事業)					
目指す状態	計画の進行管理とともに適切な事業選択や整備計画を決定し、山形県全域生活排水処理施設整備基本構想の見直しなどに反映させる。	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()			

3. 実施状況

対象指標	指標名称	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込		
			実績	1	1	1				1	
活動指標	事業検討開催数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画		
		実績	1	1	1				1		
		達成率	100.0%	100.0%	100.0%						
成果指標	公共下水道普及率(%)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標		
		実績	51.1	51.9	52.5				65.0		
		達成率	83.6%	95.2%	80.8%						
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)										
		年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
		開催数	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	普及率	46.5	47.7	48.6	49.4	49.7	49.4	51.1	51.9	52.5	
	供用開始区域が広がっているのに、H25の普及率が下がったのは、供用開始区域内の人口減少率が行政区域のそれより高かったため。										
成果(どのような状態になったか)	効果的な汚水処理整備計画を策定し、生活排水処理施設整備の促進を図っている。										

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費・・・①	0	0	0	0			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	受益者負担							
	その他特財							
一般財源	0	0	0	0	0	0	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	4,138	4,138	4,103	3,174	0	0		
内訳	正規職員(人)	0.53	0.53	0.53	0.41			
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741			
費用合計(①+②)	4,138	4,138	4,103	3,174	0	0		
臨時嘱託等(人)								
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)								

(PLAN) 計画

(DO) 実行

1. 基本事項

Table with 4 columns: 事務事業名, 基本目標, 政策名, 施策名, 事業区分, 法令根拠, 条例・要綱等, 予算・事務事業名, 事業期間. Includes details for public sewerage beneficiary burden assignment and collection work.

2. 事務事業の概要

Table with 3 columns: 目的, 対象, 目指す, 事業内容, 実施形態. Describes the purpose, target, and implementation of the sewerage construction project.

3. 実施状況

Table with 10 columns for years H26-H31 and H32. Includes sub-tables for '指標名称' (Indicator Name) and '補足説明' (Supplementary Explanation) with numerical data for beneficiary burden assignment.

4. 投入資源

Table with 7 columns for years H26-H31. Shows financial resources including '事業費' (Operating Expenses) and '人件費' (Personnel Expenses) broken down by category.

(PLAN) 計画

(DO) 実行

1. 基本事項

事務事業名	農業集落排水施設管理運営事業			事務事業コード	425-201-56
総合計画	基本目標	4	社会生活基盤が整い、安全で快適なまち	担当課	上下水道課
	政策名	2	安全安心で住みやすい生活環境基盤を整備する	担当者	阿部和也
	施策名	5	良好な水環境の保全	内線	334
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 独自事業 <input type="radio"/> 法定事業 <input type="radio"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="radio"/> 評価事業 <input type="radio"/> 説明事業
法令根拠	浄化槽法				
条例・要綱等	新庄市農業集落排水処理施設設置及び管理に関する条例、同条例施行規則				
予算・事務事業名	農業集落排水事業特別会計	1	1	1	1
		1	1	1	1
		1	1	1	1
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 事業年度 平成 年度 (1年限りの事業) <input type="radio"/> 期間限定 始期 年度 ~ 終期 年度 (独自事業は基本的に平成32年まで) <input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し(継続) 開始年度 昭和 61 年度 ~ (期限の定めのない事業)				

2. 事務事業の概要

目的	公共用水域の水質保全、生活環境の改善。	事業内容	水質を管理し、基準値以下で放流。		
対象	処理区域内の住民 (処理区域:昭和、塩野、山屋、萩野、仁田山)				
目指す状態	生活排水による公共用水域の水質汚濁の改善。	実施形態	<input type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()		

3. 実施状況

対象指標	指標名称	処理区域内人口(人)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32見込
			実績	2,338	2,307	2,280				
説明(算式等)			達成率							
活動指標	指標名称	定期点検回数(回)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32計画
			実績	12	12	12				
説明(算式等)			達成率	100.0%	100.0%	100.0%				
成果指標	指標名称	水洗化率(%)	年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32目標
			実績	84.3	85.7	85.3				
説明(算式等)		処理人口/排水処理区域人口	達成率	96.9%	98.5%	98.0%				
補足説明	(指標の内訳や指標以外の年次別数値、事業内容等の補足説明)									
	普及率等の現状					平成29年3月31日現在				
	地区名	処理戸数(戸)	処理区域内人口(人)	処理人口(人)	普及率(%)	年間汚水量(m3)	供用開始日			
	昭和地区	84(3)	352	329	93.5%	44,351	S61.12.1			
	塩野地区	40(1)	168	154	91.7%	24,584	S62.4.1			
	山屋地区	110(7)	508	482	94.9%	64,511	H5.2.1			
	萩野地区	216(7)	924	774	83.8%	126,238	H11.4.1			
仁田山地区	51(3)	328	206	62.8%	19,577	H13.11.15				
計	501(21)	2,280	1,945	85.3%	279,261					
成果(どのような状態になったか)	適正な放流水質を維持することができた。									

4. 投入資源

(単位:千円)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	事業費の算出根拠(H28)	
事業費・・・①	29,143	27,232	27,659	27,503			歳入の積算内訳	
内訳	国庫支出金						事業分担金	0
	県支出金						使用料	20,502
	受益者負担	20,959	20,679	20,521	19,872		手数料など	19
	その他特財	23	19				繰入金	7,138
	一般財源	8,161	6,534	7,138	7,631	0	主な歳出の内訳	
人件費・・・②	4,997	4,997	4,954	3,793	0	0	光熱水費	7,954
内訳	正規職員(人)	0.64	0.64	0.64	0.49		修繕料	5,330
	1人当たり単価	7,808	7,808	7,741	7,741		通信運搬費(通報装置等)	545
費用合計(①+②)	34,140	32,229	32,613	31,296	0	0	施設管理業務委託	12,531
臨時嘱託等(人)							除排雪業務委託	509
事業費増減の理由(30%以上増減の場合)							他	790
							計	27,659

5. 項目別評価

区分	項目	自己評価(チェック)	左記の判断理由 (評価の判断理由を記述する)
目的 妥当性	①事務事業の目的が 施策に結びついているか	● 結びついている ○ 見直しの余地がある	目的が『良好な水環境の保全』そのものである。
	②対象や目指す状態が 適当であるか	● 適切である ○ 見直しの余地がある	農業集落排水事業区域としての位置付けが確立している。
有効性	③成果の向上余地がない か	○ 向上の余地がない ● 向上の余地がある	未接続世帯への水洗化の普及向上に努める。
効率性	④成果を下げずに事業費 を削減できないか	● 削減の余地がない ○ 削減の余地がある	施設の老朽化が見られ、現状でも施設維持のための修繕費が不足している。
	⑤人員や実施形態は 適正か	○ 改善の余地がない ● 改善の余地がある	公共下水道の使用料体系との統一化の検討が必要である。
	⑥他自治体と連携できる か	● できない ○ できる	現段階では有効な共同管理等の方法がない。
	⑦官民協働できるか	● できない ○ できる	事業の性格上、公共下水道事業と同様に、市町村で管理するのが妥当である。
	⑧地域の課題や実情に合わ せた事業となっているか	○ なっていない ● なっている	地域の実情に合わせた生活排水処理方式として、農業集落排水で整備した処理施設の維持管理事業である。

6. 上記評価で出された課題

今回の評価(H28実績評価)
計画的な修繕が行えなかった。未接続世帯の更なる水洗化の普及啓蒙が必要である。

8. 課題解決に向けた現時点における取り組み状況

計画的な施設更新・改修ができないため、現状では事故発生後の修繕対応となっている。
--

7. 上記課題に対する改善方法

今回の評価(H28実績評価)
今後更なる施設の老朽化に伴い、持続可能な修繕計画を策定する。

9. 所属長評価及び今後の方向性

前回の評価		今回の評価(H28実績評価)	
所属長評価	効率的な施設管理とともに使用料の一元化に向けた取り組みを行う。また、施設の老朽化に伴う計画的な修繕により施設の延命化を図る必要がある。萩野、仁田山地区の普及率が依然低位にあるため、普及率向上が必要である。	所属長評価	効率的な施設管理とともに使用料の一元化に向けた取り組みを行う。また、施設の老朽化に伴う計画的な修繕により施設の延命化を図る必要がある。萩野、仁田山地区の普及率が依然低位にあるため、普及率向上が必要である。
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止	今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現行 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休廃止

○ 2次評価等使用欄

今後の方向性	理由等			
<input type="checkbox"/> 現行				
<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 事業費の拡大	<input type="checkbox"/> 人員の拡大	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 事業費の縮小	<input type="checkbox"/> 人員の縮小	<input type="checkbox"/> その他()	
<input type="checkbox"/> 改善	<input type="checkbox"/> 対象の見直し	<input type="checkbox"/> 事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施形態の見直し	<input type="checkbox"/> 財源の確保
<input type="checkbox"/> 休廃止	<input type="checkbox"/> 周期的に実施	<input type="checkbox"/> 一定の成果が得られた	<input type="checkbox"/> 効果が薄い	<input type="checkbox"/> 財源が不足
	<input type="checkbox"/> 目的妥当性がない	<input type="checkbox"/> 時代に適合していない	<input type="checkbox"/> 年後に廃止	<input type="checkbox"/> その他
総合意見				